

〔記入注意〕 この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

私は、一級建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者が当該書類の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
 私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

国土交通大臣 殿
 中央指定登録機関
 公益社団法人日本建築士会連合会

氏名 建築 士郎

勤務先等					
勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計			
		年月～年月	年月数		
株式会社〇〇建築設計事務所 〇〇部 〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	R2年3月～R5年7月	3年 5月		
在職期間(新しい順に記入)		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)		
年月～年月	年月数				
R2年3月～R5年7月	3年 5月	課員	建築物の設計に関する実務		
年 月～年 月	年 月				
(1)～(4)の「年月数」の合計は38.3カ月。 小数点第一位以下は切り捨て。					
建築実務の詳細(申請する実務を新しい順に記入)			建築実務経験期間の合計		
建築実務を並行して行った場合、各実務の期間が重複しない様に、業務始期が新しい実務を優先して記載してください。			3年	2月	
対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間			
		年月～年月	建築実務の割合	年月数	
〇〇事務所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	R3年12月～R5年7月	100%	1年 8月	
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・階数・延べ面積・担当業務 等)					
(1)	〔 1C-01 〕事務所ビル(鉄筋コンクリート造5階建て、延べ面積2,000㎡)の所有者変更に伴う各階の事務所部分、廊下・階段部分、トイレ・水回り部分の内部改修設計業務のうち、事務所部分と廊下・階段部分の床及び天井について、関係法令に整合している事を確認したうえで、内装下地工事を含めた仕上工事に係る実施設計について一般図(平面詳細、断面詳細、展開詳細)の作成補助を担当した。				
内装下地工事を含む内部改修設計により実務を申請する場合は、関係法令に整合している事を確認の上で改修設計を行なった部分と床・壁・天井等の部位を記載し、その上で内装下地工事を含めた設計を行ない、更に作成担当した設計図書がわかる様な記載を行ってください。1フロアの現状復旧工事のための内装設計も同様の記述をしてください。		建築士登録の対象実務に従事した時間が、毎月の法定労働時間未満の場合、その割合により「年月数」を調整してください。			
対象物件の名称	対象物件の所在地	建築実務経験期間			
〇〇マンション	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	R3年3月～R3年11月	70%	0年 6.3月	
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・階数・延べ面積・担当業務 等)					
(2)	〔 1C-01 〕分譲住宅(鉄筋コンクリート造5階建て、延べ面積1,280㎡)について、住宅(専有面積各80㎡)の水回り機器更新に係る内部改修設計業務を担当した。 具体的には、浴室・トイレ・ユニットバス・キッチンの水回り機器更新について、設置場所変更を希望する発注者の要望を確認し、改修時点の建築基準法等の関係法令に整合している事を確認した。その上で、改修部分に係る基本設計の一般図(平面、断面)を作成し、給排水設備・電気設備等の設備設計者に変更設計を依頼した。				

改修時点における内装制限、防耐火、避難や設備に係る関係法令に整合している事を確認の上で改修設計を行なっている事を明記し、改修設計を行った部分並びに作成担当した設計図書がわかる様な記載を行ってください。単なる壁クロス張替、床材張替え等の設計は実務に認められません。

記入のポイント	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
	物件名称を記載(守秘義務がある場合、イニシャル表記でも可)	守秘義務があっても都道府県・市区町村名までは記載	年月～年月	毎月の法定労働時間以上に対象実務に従事した場合、割合の上限は「100%」となります。	
			R〇年〇月～R〇年〇月	〇〇%	〇年〇月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・階数・延べ面積・担当業務 等)					
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">年月～年月がコードを跨ぐ場合は古いコードを記載</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実務の対象が具体的な建築物の場合、用途・構造・階数・延べ面積を記載。 ・ 建築物の設計業務の場合、新築か改築の別(改築の場合は工事内容及び改修対象部位等も併せて記載)、従事した業務が基本設計か実施設計かを必ず記載し、作成に関わった図面名も記載。 					

【×認められない記載の例】

■建築物の詳細(用途、構造、階数、延床面積、工事種別)の記入がない(もしくは記載内容が不足)場合。

(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
	〇〇邸	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	年月～年月	建築実務の割合	年月数
			R2年7月～R2年10月	100%	0年4月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・階数・延べ面積・担当業務 等)					
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">1C-01</div> <u>専用住宅の内装設計業務を担当した。</u>					

建築物の詳細(用途、構造、階数、延べ面積、工事種別)を記載してください。

■詳細な実務内容が記載されておらず、対象実務の判断ができない場合

(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
	〇〇邸	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	年月～年月	建築実務の割合	年月数
			R3年5月～R3年6月	100%	0年2月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・階数・延べ面積・担当業務 等)					
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">1C-01</div> <u>専用住宅(木造2階建て、100㎡)の内装改修業務において、<u>内装下地の設計図書の作成を行った。</u></u>					

内装改修設計を行った部分(室名など)と床・壁・天井の部位や改修内容、作成した図面の名称などを詳細に記載してください。

【注意】

実務経歴書には建築・設備等の関係法令に整合している事を確認した上で内装改修設計を行った部分(室名など)と床、壁、天井のいずれかの部位や改修内容、および作成担当した図面名を記入してください。それらの記載がなく、実務の内容等が判断できない場合は、申請者に修正を求めます。

さらに、修正された記載内容においても疑義が残り、本会が実務に関する詳細な資料の提出が必要であると判断した場合は、申請者に対し、実務に関する図面とその図面に申請者が行った実務内容を文章で記した資料等の提出を追加でお願いする場合があります。